

ビジネスアイデアの概要

アフリカの大気汚染は死亡要因の第二位になるなど深刻な社会問題である。特に重工業地帯では被害が深刻であり、近年の規制強化や環境重視の風潮も影響して排ガスの監視が求められている。しかし、従来の高コストな監視センサーを導入する余裕はアフリカにまだなく、監視体制構築が遅れているのが現状である。そこで、精度を落とす代わりに低価格化を実現した低コストセンサーと、精度を補うAIを用いた監視システムを組み合わせることで、現地のニーズに適応した監視システムの普及に努める。

ビジネスアイデアを事業化するための課題

- ・AI監視システムの開発を完成させることができるか？
- ・国内での実証実験を複数実施できるか？
- ・JICAやJETROなどの海外展開向け支援プログラムに採択されるか？
- ・いかに海外の顧客に営業できるか？導入までもっていけるか？

事業化の見通し

欧州やインドに加えて、アフリカの国々でもフェンスライン監視の規制が明文化されつつある。また、親会社や取引先、資金調達先が欧米の企業・機関である場合が多く、ESG等の観点から環境対策のニーズが高まっている。アフリカだけでも低コストセンサー監視の市場規模は160億円に達すると見込まれる。

今後は国内で窒素酸化物や臭気モニタリングを、清掃工場や下水処理施設で行わせていただき、実証実験を経て事業化する。そのうえで、海外に展開していく計画である。

事業者情報

若林颯 (ProofAir)

ビジネスアイデア概要図等

